

消 防 統 計

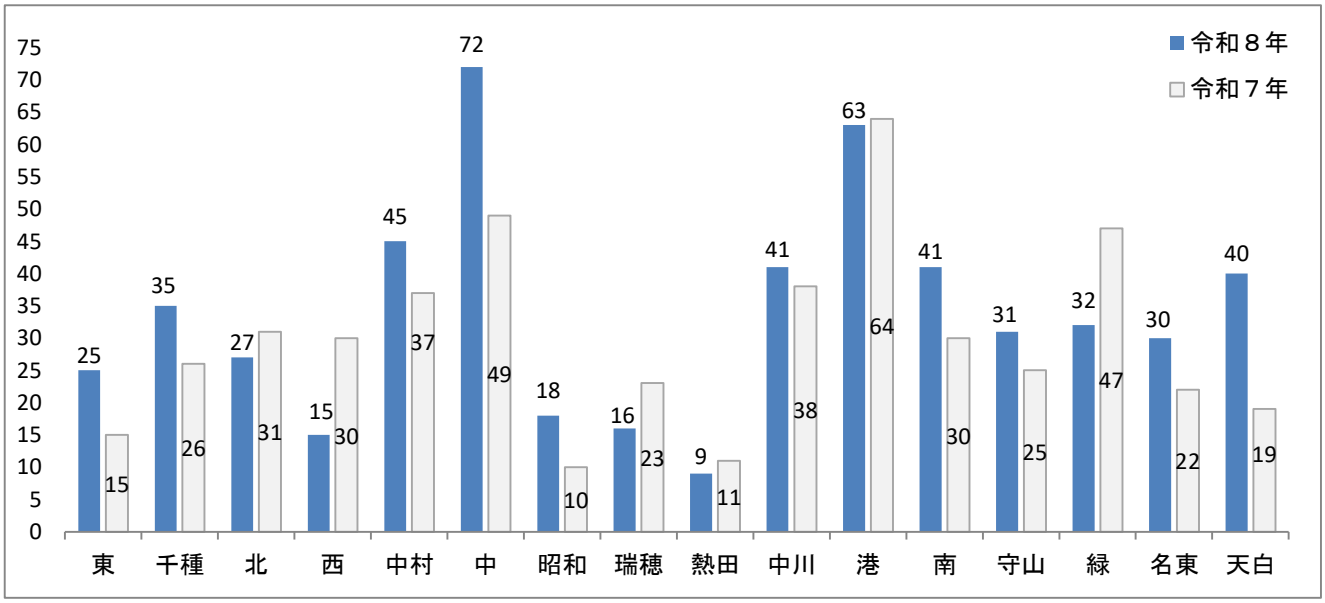
令和８年１０月３１日現在
東　　消　　防　　署

１　火　災　統　計

		10月中の火災件数 （ ）内は建物火災	火災件数累計 （ ）内は建物火災	焼損面積 （㎡）	損害額 （千円）	死　者 （人）	負傷者 （人）
名古屋市	令和８年	68　（　39　）	540　（ 317　）	4,715	532,033	13	89
	令和７年	41　（　26　）	477　（ 273　）	2,549	329,812	10	81
東　　区	令和８年	5　（　3　）	25　（ 17　）	79	3,320	2	6
	令和７年	1　（　1　）	15　（ 12　）	8	328	0	3

※昨年の各件数については、本年と同期の件数を表示しています。

(1)　行政区別火災件数



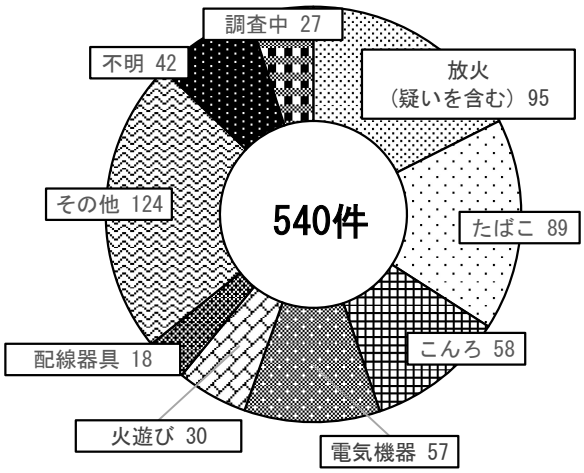
(2)　学区別発生状況

※この消防統計は速報のため、焼損面積、損害額は調査中のものもあります。

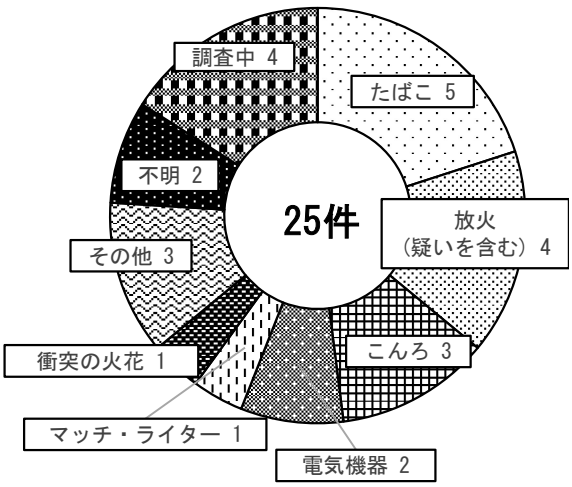
学　　区	火災件数　（　）内は建物火災		令和８年			
	令和８年	令和７年	焼損面積(㎡)	損害額(千円)	死者(人)	負傷者(人)
東　　桜	6　（　5　）	4　（　3　）	7	918	0	1
山　　吹	4　（　3　）	0　（　0　）	50	1,696	0	3
東 白 壁	1　（　0　）	0　（　0　）	0	225	0	0
葵	3　（　1　）	1　（　1　）	1	80	0	0
筒　　井	0　（　0　）	2　（　2　）	0	0	0	0
旭　　丘	4　（　3　）	2　（　2　）	1	32	1	1
明　　倫	1　（　1　）	4　（　3　）	0	15	0	0
矢　　田	5　（　3　）	2　（　1　）	19	352	1	0
砂 田 橋	1　（　1　）	0　（　0　）	1	2	0	1
合　　計	25　（　17　）	15　（　12　）	79	3,320	2	6

(3) 火 災 原 因

＜名古屋市＞



＜東区＞



(4) 火 災 概 況

指令日時	学区	場所	火災種別	焼損概要
10月6日 4時40分	矢田	矢田三丁目地内	その他	公園内の枯れ枝及び木製ベンチが焼きした。
10月6日 13時59分	旭丘	大曽根二丁目地内	建物	共同住宅の一室でスプレー缶を破棄処理中に爆発した。
10月12日 2時14分	東桜	泉二丁目地内	建物	複合用途ビル店舗内の一部が焼きした。
10月12日 4時54分	葵	葵一丁目地内	その他	公園内の切り株が焼きした。
10月27日 8時39分	東桜	泉二丁目地内	建物	共同住宅の共用部分において雑品が焼きした。

(5) 消防隊災害出動件数（東区内・１０月中）

件数	出動の件数
６７件	火災等出動（火災らしき煙、異臭、ガス・油漏れ、非常ベルの鳴動等）
	救助出動（交通事故、高所・低所での傷病者の救助、水難事故等）
	救急出動（心肺停止・重傷者への救命処置、救急隊の活動支援等）

（出動事例）

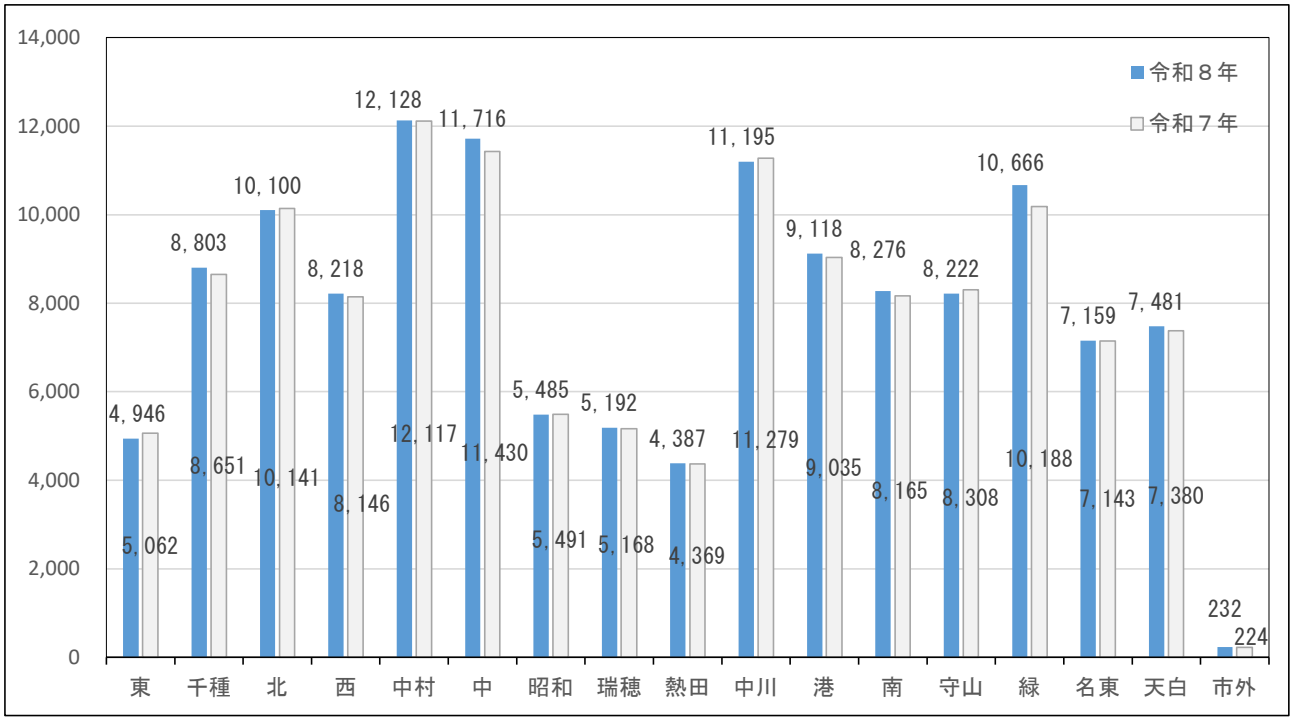
- 店舗付き共同住宅の１階店舗において、自動火災報知設備が発報したとの通報があり出動したもの。１階店舗従業員がバルサンを使用したため煙感知器が発報したもの。
- 一般住宅においてガス臭がすると通報があり出動したもの。外構工事場所付近のガス埋没配管からガス漏れがあり、ガスの元栓を閉鎖し東邦ガスに引き継いだもの。
- 植木の剪定作業中に剪定作業用バリカンの刃に作業用手袋が巻き込まれたのと通報があり出動したもの。救助隊がバリカンの刃を分解し救出したもの。

２　救　　急　　統　　計

		10 月 出動件数	出動件数 累計	搬送人員 累計	令和８年　事故別出動件数				
					急病	一般負傷	転院搬送	交通	その他
名古屋市	令和８年	14, 011	133, 324	118, 805	95, 002	18, 541	8, 346	5, 536	5, 899
	令和７年	12, 565	132, 297	117, 115	94, 950	17, 757	8, 327	5, 670	5, 593
東　　区	令和８年	513	4, 946	4, 275	3, 444	712	272	207	311
	令和７年	472	5, 062	4, 376	3, 595	662	322	225	258

※ 事故種別の「その他」は、加害、自損行為、労働災害などをいう。（以下、同じ）

(1)　行政区別出動件数

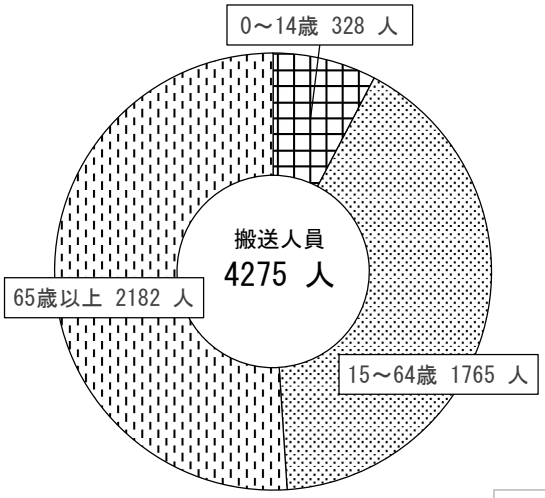


(2)　学区別出動件数

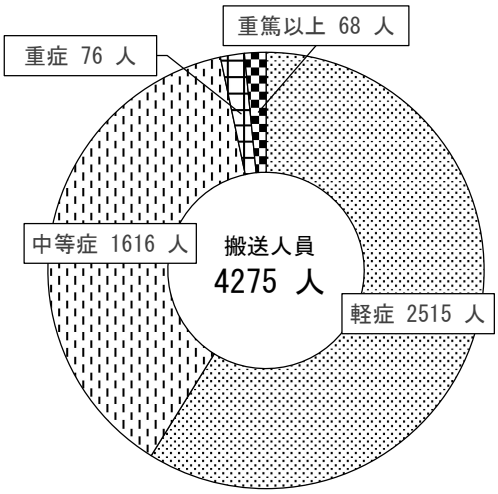
学区	出動件数		令和８年 出動種別（内訳）				
	令和８年	令和７年	急病	一般負傷	転院搬送	交通	その他
東　　桜	782	758	541	111	12	37	81
山　　吹	484	534	289	57	69	37	32
東 白 壁	352	337	255	55	11	17	14
葵	727	738	501	97	55	25	49
筒　　井	419	454	306	57	8	13	35
旭　　丘	478	529	341	82	14	21	20
明　　倫	337	318	235	50	18	17	17
矢　　田	849	886	623	134	21	31	40
砂 田 橋	518	508	353	69	64	9	23
合　　計	4, 946	5, 062	3, 444	712	272	207	311

(3)　東区年齢別・傷病程度別搬送人員状況

【年齢別】



【傷病程度別】



軽　　症：入院加療を必要としないもの
中 等 症：軽症又は重症以外のもの
重　　症：3週間以上入院加療を必要とするもの
重篤以上：生命の危険がひっ迫している又は死亡が確認されたもの

(4)　救急隊災害出動件数等

	10月 出動件数	累計 出動件数
東　　救急隊	377件（3位/51隊）	3,459件（4位/51隊）
富士塚　救急隊	425件（1位/51隊）	3,772件（1位/51隊）



１１月９日（月）から１１月１５日（日）

全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます

＜東消防署からのお知らせ＞

令和７年中の名古屋市の火災件数は、５６９件で前年より５９件増加しました。火災による死者は１４人で、前年より４名増加しました。

出火原因の上位は、放火（１１０件）、たばこ（９６件）、こんろ（５９件）、電気機器（４６件）でした。これを踏まえ、以下のことに注意しましょう。

- **たばこを吸い終わったら火種を確実に消す。**
- **センサー付ライトを設置するなど放火されない環境を作る。**
- **調理中にコンロから離れる場合は、必ず火を消す。**
- **電気機器等で異常を発見した場合は、使用しない。**
- **火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。**

すべての住宅に
住宅用火災警報器の
設置が必要です

「火の確認　いい日を支える　いい習慣」2026年度　全国統一防火標語